

ネズミモチ

【 区画⑳(173) 】

学名	<i>Lingustrum japonicum</i> Thunb.	分類	モクセイ科イボタノキ属
分布	関東～沖縄の低山に自生，公園・庭園等に栽植	樹高	2～5m程度の常緑低木

〈 特徴等 〉

名前の由来	<p>・「モチ」は「モチノキ」に似たのつぺりとした葉であることから。「ネズミ」は、楕円形の黒い果実が、ネズミのフンに似ていることから「ネズミモチ」となった。</p>		
葉の特徴	① 常緑・落葉	② 広葉・針葉	
	③ 対生・互生	④ 単葉・複葉	⑤ 鋸歯縁・全縁
開花等	<p>・6月頃に白い花を咲かせる。</p>		
結実等	<p>・秋に楕円形の黒い果実をつける。</p>		
その他	<p>・同属のトウネズミモチとよく似ていて見分けるのが難しい。ネズミモチは、トウネズミモチよりも葉や樹高が一回り小さく、果実の形が楕円形である。</p>		

〈 写真 〉

		
樹木 (5/12)	樹皮 (6/12)	葉の付き方 (5/12)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実 (実) (/)